

加工食品



福岡県 (株) 一蘭

『国別の違いを考慮しながら世界各国へ』

【主な品目】

即席ラーメン

【主な輸出先国・地域】

台湾、香港、上海、韓国、オーストラリアなど

【輸出取組の概要】

- ◆ こだわりとブランドを理解していただいたうえで、慎重に海外展開していく。

【輸出実績】（平成28年度より輸出開始）

年度	輸出国	売上推移（前年比）
平成31年度 （令和元年度）	台湾、香港、中国、カナダ、オーストラリア、シンガポール、韓国、アメリカ【準備中】タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン	+130% ※見込み
平成30年度	台湾、香港、中国、カナダ、オーストラリア、シンガポール、韓国	+150%
平成29年度	台湾、香港、中国、カナダ	+1784%
平成28年度	台湾、香港	-

【輸出後に抱えた課題】

- 1 日韓関係の悪化による韓国輸出の落ち込みと現地売場維持。
- 2 マレーシアとの取引を進めていた商社が、新商品の取り扱いが困難な状況となり、輸出展開に遅れが生じている。
- 3 シンガポールでは、畜肉関連での輸入可否を確認するだけでも時間を要する。

【生じた課題への対応】

- 1 韓国仲卸との現状を乗り切るための話し合いを重ねている。
- 2 海外取引については基本2社以上の企業と話し合いを行うことで、一方が難しくなった場合は、もう一方と相談しものを動かしている。
- 3 通関への回答は、質問内容や事前の情報提供量によって細かく変動するため、確認は1社のみならず、現地法人のある取引先や国内商社にご協力いただいた。

【対応の結果】

- 1 政治的要因が大きいため、損失を減らす方向で応急処置を行い静観している。
- 2 遅れは生じているもののマレーシアでの販売開始に向け稼働中。
- 3 自社で多くの情報を持つことで「出来ない」の結論に対し、異論を唱え続けることが出来、対応可能商品にたどり着くことが出来た。

【今後の課題・展望】

- 1 海外情勢にアンテナを張り、事前に準備するための仕組み作り
- 2 為替変動による商品の高騰リスクを海外取引先とどう乗り切るか
- 3 各国において信用できる情報の取得方法と、信頼できるパートナー企業の選定

【活用した支援・施策】 JETRO、福岡商工会議所など

【ウェブサイト】 <https://ichiran.com/>

【連絡先】 担当部署：物販(卸) TEL：092-332-2830（株式会社一蘭 糸島オフィス）



海外輸出している
『一蘭ラーメンちぢれ麺』



海外の小売店に設置している
一蘭専用の販促什器